

ご案内

第 47 回 (2017) 新潟神経学夏期セミナー

—脳と心の基礎科学から臨床まで最前線の研究者、臨床家に触れて体感しよう—

期 日 7 月 27 日 (木) ~ 29 日 (土)

場 所 新潟大学脳研究所 統合脳機能研究センター (6F) セミナーホール

主 催 新潟大学脳研究所 新潟脳神経研究会

プログラム

● 7 月 27 日 (木) 見学・体験実習コース (共同利用・共同研究拠点プログラム*)

①基礎神経科学履修コース

A. 脳活動の光学的イメージング (7/27 のみ) (3~6 名)/B. 遺伝子改変動物作製の実験 (7/26~27) (4 名)/

C. 神経細胞の培養と遺伝子導入 (7/27 のみ) (6 名)

②脳研レジデント (臨床) 体験コース: (7/27 のみ) (10~20 名)

脳神経外科, 神経内科, 病理 (Brain Cutting, CPC), 3T-MRI など脳研の臨床を 1 日で体験できるコース

● 7 月 28 日 (金) セミナー: 脳コネクトームの最先端

10:00~11:00 組織透明化技術と脳コネクトーム (田井中一貴: 新潟大学・脳研)

11:00~12:00 障害によるコネクトームの再編 (上野将紀: 新潟大学・脳研)

13:00~14:00 ショウジョウバエのコネクトーム (伊藤 啓: 東京大学・分子細胞生物学研究所)

14:00~15:00 ドーパミン/セロトニン神経のコネクトーム (小川幸恵: Texas 大学; UTSW)

15:00~16:00 特別講演: 遺伝子改変動物による脳機能解析 (崎村建司: 新潟大学・脳研)

16:00~ ポスター発表 (脳研究所の研究紹介)/18:00~懇親会 (講師・研究者、臨床家と語ろう!)

● 7 月 29 日 (土) セミナー: 神経疾患の遺伝子治療

9:30~9:35 Opening (金澤雅人: 新潟大学・脳研)

9:35~10:05 ALS 病態モデルとその応用展開 (須貝章弘: 新潟大学・脳研)

10:05~10:50 神経筋疾患に対する核酸医薬開発 (青木吉嗣: NCNP・神経研)

10:50~11:35 「福山型」筋ジスの新知見とアンチセンス治療 (戸田達史: 神戸大学・医)

11:45~12:30 先天性神経疾患を標的とした創薬 (萩原正敏: 京都大学・医)

12:30~13:15 AAV ベクターによる遺伝子治療 (村松慎一: 自治医科大学)

14:00~15:00 特別講演: 脳腫瘍における GTP 代謝リプログラムと新たな治療戦略 (佐々木敦朗: Cincinnati 大学) (日本学術振興会平成 29 年度外国人招へい研究者)

受講料 (懇親会費無料) 学生・修士課程院生: 無料, その他 (含む博士課程院生): 1,000 円

備 考

・本セミナーは日本脳神経外科学会生涯教育クレジット, 日本神経学会認定医更新取得単位の対象です。

・共同利用・共同研究拠点プログラム (旅費支給あり) に応募される方は下記 HP をご覧ください。

申し込み 氏名, 所属, 連絡先, 1 日目の希望コース (希望者のみ) を以下までお知らせください。

☎ 951-8585 新潟市中央区旭町通 1-757 新潟大学脳研究所 神経学夏期セミナー事務局・佐藤

TEL: 025-227-0606 FAX: 025-227-0814 E-mail: blib@bri.niigata-u.ac.jp URL: <http://www.bri.niigata-u.ac.jp>

お知らせ

本誌投稿欄に「Technical Note」がございます。手術手技, 機器, 周術期管理など手術にかかわる独自の工夫をご報告いただく欄です。ご投稿に際しては, 本文 (文献含む) 3,200 字以内, 表・図・写真 5 点以内でまとめください。

「脳神経外科」編集室